

東北福祉大学と防災活動の人材育成に関する協定締結式を行いました（2026/7/7）

テーマ：国内連携

会場：東北福祉大学国見キャンパス（仙台市青葉区）

2026年7月7日（火）、災害科学国際研究所と東北福祉大学は、防災活動の人材育成に関する協定を締結しました。東北福祉大学国見キャンパスで行われた締結式には、東北福祉大学から千葉公慈学長と阿部裕二副学長、阿部靖彦法人本部統括部長、当研究所から越村俊一所長（災害シオインフォマティクス研究分野）と佐藤健教授（防災教育実践学分野）、佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）、佐藤功事務長が出席の下、千葉学長と越村所長が協定書へ署名しました。

本協定の目的は、東北福祉大学と当研究所が連携・協力し、専門的な知見に基づいた防災意識の高い人材の育成を図って、地域社会の安全・安心に寄与することです。具体的には、当研究所が推薦する教職員や学生に対し、東北福祉大学は主催する防災士養成研修講座への受講機会を提供し、将来の地域防災リーダーとして活躍できる人材の育成に努める。また、災害時における研究知見の活用や地域防災力の向上に関する意見交換の実施、防災・減災に関する教育プログラムや教材の開発への助言などにおいて、可能な範囲で協力するよう努めることとしています。

締結式の挨拶で、千葉学長は「東日本大震災の教訓を踏まえながら、福祉の視点を大切にしたい防災リーダーを生み出したい。それに向けて、今回の協定は新たな挑戦の第一歩となる」と期待を述べた一方、越村所長は「福祉の実践の現場で活躍している東北福祉大学様と連携することで生まれる化学反応を期待したい。相互に協力し合いながら、次の世代の防災人材育成に貢献していく」と抱負を語りました。当研究所ではこれまでも、東北福祉大学の防災士養成研修講座に複数の教員が参加・協力するなど、互いに連携活動を重ねてまいりましたが、今回の協定締結でより一層の連携を図っていきます。



協定書を持つ千葉学長と越村所長



協定書へ署名する様子



今後の抱負を述べる越村所長



出席者全員による記念撮影

文責：佐藤正則（広報室）